



株式会社ファイナル



【 会社概要 】

【FSSC22000、健康食品GMP認証取得工場】発酵、コーティング技術などを駆使し、体感性のある風味豊かな健康茶を製造しています。健康食品は、健康茶の製造ノウハウを生かし、特許技術を用いた発酵原料、多種類の原料を使った高い付加価値の商品を製造しています。



会社HP:<https://www.finarl.co.jp>

会社名:株式会社ファイナル

業種:製造業

設立:昭和59年8月30日

従業員数:95名

代表:門脇康弘

場所:鳥取県鳥取市上味野15番地

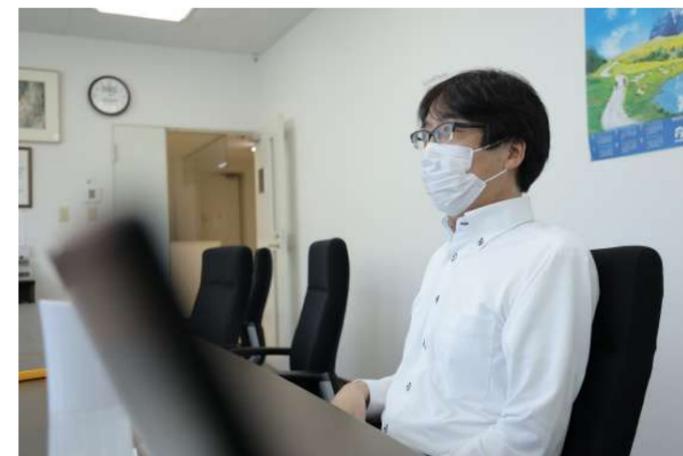


取締役 中山 友行さん

代表インタビュー

【入社までの経緯】

私は鳥取県出身で県内の高校に通っていたのですが、当時は「バイオテクノロジー」という言葉が話題になっていました。元々“自然”や“生物全般”が好きだった私は「大学で生物学を専門的に学びたい」と考えるようになり、福井県の大学へ進学しました。大学では微生物を使った遺伝子組み換えなどの研究を積極的に行い、卒業後はバイオテクノロジーや医薬品の会社に就職したいと思っていました。



代表取締役

門脇 康弘さん

家族からは鳥取県内での就職を勧められましたが、当時、鳥取には該当する会社がなかったことから、三重県にあるベンチャー企業へ就職することにしました。そこでは微生物のサプリメントなどの研究を行っていました。その後、家族からの要請で鳥取へUターンすることを決めたのですが、私の履歴書を見たファイナルの前社長から、「エントリーしてみたら?」と声を掛けて頂きました。社長の話を聞いていく中で、「研究だけではなくいろんなことが出来る」という言葉に惹かれてファイナルに入社することを決意しました。(当時の従業員は30名程度)

【仕事をする上で心がけていること】

私は、「成功するときは必ずトラブルが起きる」と思っています。ですので、はじめのうちは失敗を恐れずに、クレーム対応や受注発注など、様々な経験を積んでいくことが大切だと考えます。「失敗も経験のうち」という言葉がありますが、失敗することで「注意しよう」という気持ち生まれ、次の成功にもつながるし、結果的にミスも少なくなると思います。



社員インタビュー

Q 入社を決め手を教えてください //

合同企業説明会に参加した際、ファイナルが鳥取県内で初めて“ユースエール認定”を取得した企業だと知りました。これからの社会は“共働きが当たり前”なので、「定年まで安心して働きたい」という思いから、入社を決めました。

Q 仕事のやりがいを教えてください //

自社製品がスーパーなどに陳列されることで「お客様の健康に貢献している」と感じられるところと、初めて注文いただいた方から「荷物が届くのが楽しみだ」と言っていただくと嬉しくなります。

Q 入社後に身についたことはありますか //

課題発見力です。どんな小さな疑問も上司の方が受け入れてくれるので、課題を見つける力が備わったと感じています。

Q 企業選びのポイントを教えてください //

プライベートの充実化で選びましたが、やりがいを求める人もいます。経験を積んでいく上で自分がやりたいことを見つけ、それに合った職場を見つけるのがポイントであり、自分が何を大事にするかを照らし合わせながら選ぶことが大切だと感じます。



所属：営業部 受注出荷係

永見 直美さん【入社して3年】



所属：製造部 第二製造課 健康食品包装仕上係

近藤 駿さん【入社して5年】

Q 入社前の印象を教えてください //

「人々の健康を支えるもの」を作ることができる職場だと感じ、入社を決めました！安心・安全な製品づくりを目指し、何事も先を見据えて行動することを意識しています。工場は「黙々と作業を行う場所」という印象を持っていましたが、「妥協をしない品質づくり」を追求する上で、上司との「意見交換・コミュニケーションが大切である」ということを知りました！

Q 後輩として入ってくる方はどんな人がいいですか //

衛生上、遵守しなければならないルールがあるので、それを守って安心安全な製品と一緒に作っていきける「真面目な方」に入社してもらいたいですね。

Q 専門的な知識はどのようにして身につけたのですか //

入社後に全て身につけました。機械の知識、メンテナンスのノウハウなど、丁寧に指導してもらえたので、安心して仕事に取り組むことができました。

Q 入社後に気をつけていたことはありますか //

日々の生産をこなす中でどうやって効率よくしていくのかを考えないといけないが、先を見据えて行動するという意識していました。その中で上司や同僚との相談をし他の人からの意見も参考になりました。

学生インタビュー

私がファイナルさんに取材を行おうと思った理由としては、自分の将来についての不安感と、企業というものが一体どういうものなのかという興味があり、実際に直接聞く機会をいただけたからです。実際に取材してみて、私は多くの貴重な話を聞くことができました。例えば、経営者の方からは、社会人に必要な資質について、社員の方からは働く上でのメンタルや心がけていることなどを聞くことができました。また、ファイナルさんは取材をしている短い時間でも雰囲気が良いことが伝わってきました。上司と部下という立場でありながらも、意見を交換し合うフラットな関係にあると社員の方はおっしゃっており、雰囲気の良さに納得ができました。実際に工場内の見学もさせていただき、工場内の清潔さや、円滑に仕事が進められている様子から、充実した仕事なのだとわかりました。



【取材学生】農学部生命環境農学科 1年生



写真左：工場内を見学している様子

写真右：製品「ごくごくルイボス茶」「ごくごくごぼう茶」

初めて企業に訪問をしましたが、お客様に寄り添った商品の開発や研究が行われていることに感銘を受けました。創業以来培ってきた「遠赤外線焙煎」のノウハウを活かし、原料ごとに香り・旨味を最大限に引き立たせ、美味しく飲みやすい嗜好性の高い健康茶に仕上げる技術、特許技術を用いた茶葉の発酵、機能性素材の茶葉へのコーティングなどのこだわりを知り、実際に飲んでみたくくなりました。



編集後記

1年生の学生で企業取材も初めてと言われていましたが、対象の企業研究を目的とした事前ガイダンスではHPや企業紹介の記載があるサイトから活発的に情報収集を行い、多くの質問を準備していただき当日に挑むことができました。

初めは緊張しつつ社員さんとの対談を行っていましたが徐々に緊張も緩和し自発的に質問を行い会話内で出た自身が分からない言葉についても質問されていました。

取材を受けていただいた社員さんからも「なんでも聞いてください」という優しい言葉があり、より企業のことを知ることができたのではないのでしょうか。

工場内の見学についても除菌を念入りに行い普段入ることのできない製造工程を見ることが出来ました。